

(様式4)

## 【高野町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習支援ソフトや学習eポータルでの学習履歴を活用し、児童生徒の特性や学習到達度に応じた学習機会を提供するとともに、児童生徒自身が最適な学習を調整するための支援を行い、「個別最適な学び」の実現を目指す。また、授業支援ソフトを活用し、他者との協働作業を通じて必要な資質・能力を育成し、「協働的な学び」の実現を目指す。さらに、児童生徒の個性を生かしながら社会性を育む教育を充実させ、本町の教育の目指す姿である「主体的に学び生きる力を身につける人」の育成を図る。これらの取組を通じて、未来を切り拓く力を育み、持続可能な社会の形成に貢献する人材を育成する。

#### 2. GIGA第1期の総括

令和2年よりGIGAスクール構想が始まり、教育用タブレットを整備した。AIドリルを活用した個別最適学習、クラウド型共有ノートを主軸とした協働学習等から、日常の授業において、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した。また、LTE型の教育用タブレットを導入したことにより持ち帰りを促進することができた。ただ、課題として各学校においてICTの活用指導力を有する教職員が牽引することによりICTの積極的な活用を進めているが児童数が少なく複式学級になっている学校や教職員の知識の差などにより学校ごとに差が出てきている。引き続き授業実践例等の掲示により、教職員のICT活用を支援していく。

一方で、端末のLTE型を導入したが通信費の負担が大きくまた、学校及び各家庭にWi-Fi等の環境があるため更新端末については、Wi-Fiモデルを導入する

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の積極的活用について、AIドリルや大型提示装置を引き続き活用し児童生徒が自分で調べる場面、考えをまとめ、発表、表現する場面、児童生徒同士や教職員とのやりとりをする場面において積極的に端末を活用できるように先進的な取組について紹介するなど各学校において研究が深まるように務める。

また、端末の持ち運びやすさを活かし、持ち帰り学習を推進することで、自宅でも学習しやすい環境を整備する。

現在、学校において、不登校や体調不良などにより授業が受けられない児童生徒に対して学習機会を確保するため希望があった場合において授業配信等をおこなっている。また、教科によっては、教職員から児童生徒に対して課題を提出し、学びの状況を確認している。今後もオンライン配信やデジタル教材の活用などが有効に活用できる環境整備を推進するとともに希望する児童生徒が端末を利用して教育相談などが行えるようにする。